



(裏)

行 為 の 種 類	共 通	第 一 立 面	区 分				割 合	
			彩色が施され ている部分	色 彩 (マンセル値)	色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)
					N	4. 5		2 8. 1 9%
					5 Y	8. 5	1. 5	5 3. 5 6%
			屋 外 広 告 物					
			彩色が施され ていない部分	素 材 名	ガラス コンクリート			1 8. 2 5%
		計				1 0 0%		
		第 二 立 面	区 分				割 合	
			彩色が施され ている部分	色 彩 (マンセル値)	色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)
					N	4. 5		2 4. 6 9%
					5 Y	8. 5	1. 5	5 0. 0 3%
					5 YR	3	1	3. 7 7%
					5 B	5	2	1. 1 8%
		屋 外 広 告 物						
		彩色が施され ていない部分	素 材 名	ガラス コンクリート			2 0. 3 3%	
		計				1 0 0%		
		第 三 立 面	区 分				割 合	
			彩色が施され ている部分	色 彩 (マンセル値)	色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)
					N	4. 5		2 4. 6 9%
					5 Y	8. 5	1. 5	5 9. 1 2%
屋 外 広 告 物								
彩色が施され ていない部分	素 材 名		ガラス コンクリート			1 6. 1 9%		
計				1 0 0%				
第 四 立 面	区 分				割 合			
	彩色が施され ている部分	色 彩 (マンセル値)	色 相	明 度	彩 度	単 位 (%)		
			N	4. 5		2 8. 1 9%		
			5 Y	8. 5	1. 5	5 6. 7 0%		
	屋 外 広 告 物							
	彩色が施され ていない部分	素 材 名	ガラス コンクリート			1 5. 1 1%		
計				1 0 0%				
行為の期間		着手予定日	令和〇年〇〇月〇〇日	完了予定日	令和〇年〇〇月〇〇日			

備考 1 該当する□内に、レ印を付すこと。

2 彩色が施されていない部分の素材名の欄には、外観となる壁面を仕上げる素材が、着色していない石、土、木、レンガ及びコンクリート等の場合にその素材名を記載すること。

3 この届出書（事前協議書）には、様式第13号又は様式第13号の2及び秩父市まちづくり景観条例施行規則別表に掲げる図書のうち、当該行為に関する必要図書を添付することとし、届出（事前協議）に際しては、2部提出すること。

景観形成基準対応説明書

(表)

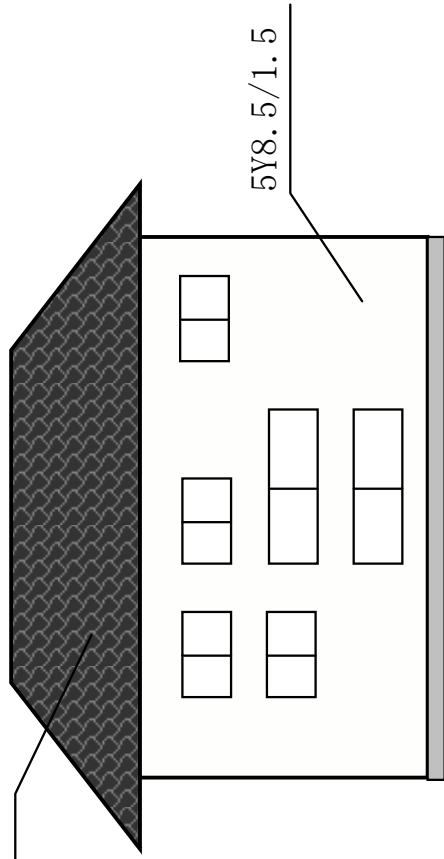
行為の場所		区域の別	<input checked="" type="checkbox"/> 市街地地域 <input type="checkbox"/> 田園地域 <input type="checkbox"/> 農山村地域
		地名地番	秩父市〇〇町〇〇〇〇-〇
行為の種類	建築物	区分	新築
色彩基準		<input checked="" type="checkbox"/> 地域別に定められている色彩基準に該当する色彩を外観に使用していない。 (使用している場合は、その使用量が各立面で3分の1を超えていない。)	
景観形成基準	共通基準	広域的な観点での配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/> 広域的な観点から景観特性を把握し、地域の景観に与える影響に配慮した。
			<input type="checkbox"/> 沿道等からの眺望やスカイラインの保全に配慮した。
		街並みの観点での配慮事項	<input checked="" type="checkbox"/> 外観については、街並みと調和した素材や色彩とするよう配慮した。
			<input checked="" type="checkbox"/> 高さについては、街並みの連続性をくずさず、周辺に圧迫感を生じさせないように配慮した。 <input type="checkbox"/> 形態については、周辺の街並みと調和するように配慮した。
	建築物等のデザイン	<input checked="" type="checkbox"/> 外観の色彩については、原色や蛍光色など、派手なものを避け、周辺の景観との調和に配慮した。	
		<input type="checkbox"/> 多色を用い、若しくは壁面のアクセントとして色を用いるにあたって、壁面の基調色とのバランスに十分配慮した。	
		<input type="checkbox"/> 建物付属物（屋外階段・空調設備等）については、建築物本体との調和に配慮した形態・意匠、色彩とした。	
		<input type="checkbox"/> 敷地内については、道路等の公共空間に潤いを与えるよう、地域の景観に調和した樹種等の植栽に努めた。	
	地域別基準	市街地地域（用途地域内）	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の現況特性を理解し、建築物等の形態・意匠等については、街並みへの調和に配慮した。特に、最小限の影響範囲として、向こう三軒両隣の関係性に十分配慮した。
			<input type="checkbox"/> 市街地を取り巻く、緑の縁取りの存在を意識し、建築物等の配置や、高さ構成については、主要な通りから緑の縁取りへの視線を遮らないように配慮した。
<input type="checkbox"/> 緑地空間の少ない市街地にあっては、敷地内緑化に努めるとともに、敷地内の緑ができるだけ通りから見えるように配慮した。			

(裏)

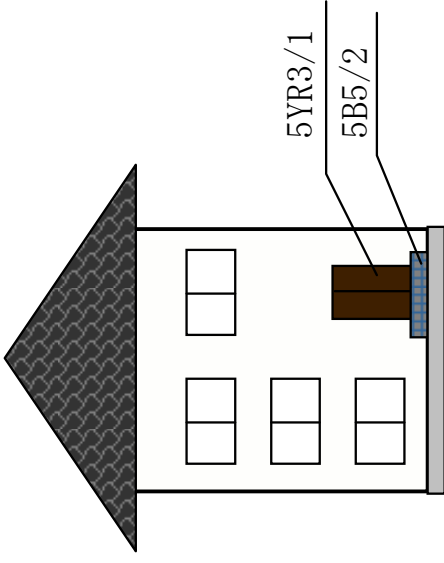
景 観 形 成 基 準	地 域	市街地地域 (用途地域内)	<input checked="" type="checkbox"/> 住宅地については、安らぎの感じられる豊かな生活環境を育成するため、建築物等の奇抜な形態・意匠は避け、落ち着きと秩序のある街並み景観となるよう配慮した。
			<input type="checkbox"/> 住宅と店舗・事務所、工場等が複合する市街地にあつては、良好な住環境を保全・育成するため、住宅以外の用途を住環境になじませるよう建築物及び屋外広告物等の形態・意匠を配慮した。
			<input type="checkbox"/> 沿道建築物の屋外灯等は、通りや広場などの夜間のにぎわいづくりに効果的となるよう、配置等について配慮した。
			<input type="checkbox"/> 秩父夜祭を始めとする地域の伝統的な祭りや文化等の舞台となる広場・建築物・道路等の周辺施設については、形態・意匠・材質をそれらとの調和に配慮した。
	別 基	除く 田園地域 (用途地域を 都市計画区域 内)	<input type="checkbox"/> のどかな地域環境を考慮し、敷地空間にゆとりを取るような建築物等の配置に努めた。
			<input type="checkbox"/> 建築物等の形態・意匠については、遠景の山並みや屋敷林、田園などの背景との調和に配慮した。
			<input type="checkbox"/> 緑豊かな周辺環境を考慮し、敷地周りは植栽・生垣など、地域に潤いを与える緑化に努めた。
			<input type="checkbox"/> 地域内の住宅地については、落ち着きと秩序のある街並み景観となるよう建築物等の形態・意匠に配慮した。
	準	農山村地域 (都市計画区域 外)	<input type="checkbox"/> 建築物等の壁面については、木材や漆喰 <sup>しっくい</sup> などの伝統的な素材感と色調となるよう配慮した。
			<input type="checkbox"/> 擁壁等については、自然石等の伝統的に使われている素材を用いるなど、地域の自然環境等に配慮した。
			<input type="checkbox"/> 建築物等については、周辺の自然と調和した形態・意匠となるよう配慮した。
			<input type="checkbox"/> 屋外広告物等については、自然素材を活用するなど、周辺の自然との調和に配慮した。

備考 該当する□内に、レ印を付すること。

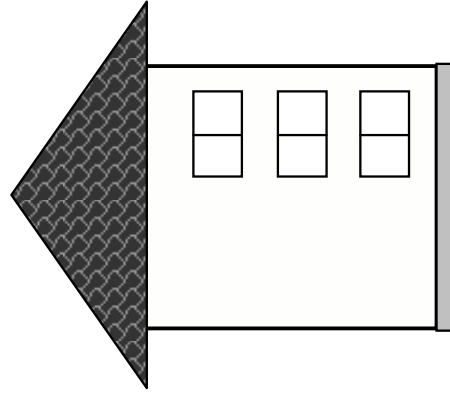
N4.5



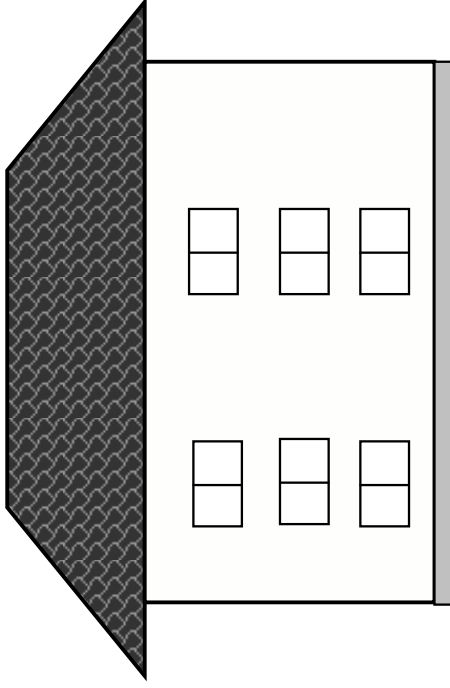
東側 立面図 (第一立面)



東側 立面図 (第二立面)



西側 立面図 (第三立面)



北側 立面図 (第四立面)

○×建築(株)

秩父太郎邸 新築工事  
立面図

○×設計

図面No.

※届出書・事前協議書には、この立面図のほか、敷地の位置及び敷地周辺の状況を表示する図面（付近見取図）、敷地内における建築物の位置を表示する図面（配置図）、外構平面図及び敷地及びその周辺の状況を示すカラー写真（2方向以上）等を添付する必要があります。

添付図書は、行為の種類によって異なります。詳しくは、「景観計画区域における行為の届出書・事前協議書への添付図書一覧表」をご覧ください。